

日本障害者リハビリテーション協会  
パソコンボランティア指導者養成事業  
「障害者へのICT 活用研修会」のご紹介

---

**公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会**  
**情報センター 長 村 上 博 行**

- 障害者の情報通信技術の利用機会や活用能力の格差是正のためには、障害者にパソコンの使用方法を教えることができる人材（パソコンボランティア）の確保が必要。
- そのため、パソコンボランティアを指導する者の養成研修『障害者へのICT活用研修会』を実施し、もって障害者の情報バリアフリー及び社会参加の推進に資することを目的とする。

※ 2002年（平成14年）度より、厚生労働省から本協会への補助金事業

## ○ 障害者へのICT活用を目的とした研修を「障害別カリキュラム」により実施



以下の条件を満たす方。

- 日常的にパソコンでワープロ操作、ホームページ閲覧、メール等をしている方。
- 今後指導者として障害者へのICT支援の養成に携わる意欲のある方。

※障害の有無を問いません

通常研修（東京研修・地方研修）各1回：計2回

- 障害全般（聴覚障害含む）
- マルチメディアと発達障害
- 視覚障害
- 肢体障害



## 特別研修

### ➤ マルチメディアDAISY※製作研修

製作ソフトウェア別 2 種※※・各 2 回（計 4 回）を予定

※ DAISYとは「Digital Accessible Information System」の略。  
日本では「アクセシブルな情報システム」と訳されています。

※※製作ソフトウェア

「PLEXTALK Producer」 「ChattyInfty3」

- 通常研修：全ての科目(5科目)を受講すること。
- 特別研修：各々の科目を全て受講すること。

## 講師

- ・堀込真理子（社会福祉法人 東京コロニー 職能開発室所長、東京都障害者IT地域支援センター センター長）
  - ・田代洋章（一般社団法人 日本支援技術協会（JATC） 理事・事務局長）
- 
- 障害認知と障害特性
  - 求められる支援、合理的配慮
  - ICT支援機器活用事例、アクセシビリティ体験



## 講師

- ・ 河村宏（特定非営利活動法人 支援技術開発機構 副理事長）予定
- ・ 野村美佐子（特定非営利活動法人 支援技術開発機構 事務局長）予定
- ・ 井上芳郎（埼玉県立所沢高等学校 講師）

- DAISYの紹介
- 求められる支援、合理的配慮
- 障害特性（心理的疑似体験）
- ICT支援機器活用事例

## 講師

- ・ 杉田正幸（国立国会図書館 関西館 図書館協力課 障害者  
図書館協力係）
  - 障害特性
  - 求められる支援、合理的配慮
  - ICT支援機器活用事例
  - ワークショップ（体験）

## 3. 視覚障害者が用いるソフトウェア

### (1)スクリーン・リーダー（画面読み上げソフト）

パソコンの画面情報を音声で読み上げる。スタートメニューやプログラム、アプリケーションメニューやダイアログボックス、漢字変換など  
主なソフト名：PC-Talker（高知システム開発）、JAWS（エクストラ、フリーダムサイエンティフィック[アメリカ]）、NVDA（NV Access[オーストラリア]）

### (2)音声ブラウザ

インターネットの情報を音声で読み上げる。

主なソフト名：ネットリーダー（高知システム開発）、Altair（石川准）

### (3)画面拡大ソフト

パソコンの画面情報を拡大表示する。

主なソフト名：ZoomText（エクストラ、フリーダムサイエンティフィック[アメリカ]）

### (4)活字 OCRソフト

パソコンとスキャナーを接続し、パソコン側から簡単な操作をすることでスキャナーの上に置いた墨字原稿（図書など）を音声で読み上げる。  
主なソフト名：らくらくリーダー（アイネット）、MyRead（高知システム開発）、よみとも10（アイフレンズ）、快速ヨメール（アメディア）

### (5)点訳ソフト

パソコン上に6点またはローマ字で点字を入力し、点字印刷する（点訳ボランティアや視覚障害者向き）。

主なソフト名：点字編集システム（テクノツール）、ブレイルスター（ニュー・ブレイル・システム）、T・エディタ（加藤文彦）

### (6)自動点訳ソフト

漢字かな混じりの文書を自動的に点字変換をする（変換は完全ではないので、点字の分かる人が点字のルールに従って間違えの訂正、分かち書きの訂正が必要）。

主なソフト名：EXTRA（エクストラ）、ibukiTenC（岐阜大学池田研究室）、お点ちゃん（K a t m a n）

・・・・・・・・・・続く。

## 講師

- ・ 渡辺崇史（日本福祉大学健康科学部 教授）

- 障害特性
- 求められる支援、合理的配慮
- ICT支援機器活用事例
- ワークショップ（体験）

## 講師

- ・ 製作ソフトウェア「PLEXTALK Producer」担当  
特定非営利活動法人 DAISY TOKYO （予定）
  - ・ 製作ソフトウェア「 ChattyInfty3 」担当  
認定NPO サイエンス・アクセシビリティ・ネット （予定）
- 概要
  - マルチメディアDAISYの製作

# 定 員

➤ 原則20名。

※ 会場等により変更の場合あり。



- 資料代      通常研修 4,000円    /    特別研修 2,000円
- 開催日2週間前までにお支払い。
- 2週間前までのキャンセルは全額返金。振込手数料は受講者負担。2週間をすぎてからの返金は不可。
- 交通費、宿泊費等は、受講者負担。宿泊先の手配は各自行う。

- パソコンボランティア指導者養成研修事業の研修申込フォームのページ※より受講者本人が必要事項を入力の上、申し込んでください。
- 定員に達した研修については、随時ウェブ上で周知します。

※パソコンボランティア指導者養成研修事業

<https://www.jsrpd.jp/ic/pcv/index.html>



- 原則として先着順です。研修費の入金確認をもって受講決定とします。

※受講者多数の場合は、同じ団体等から1名となる場合があります。

- 入金確認後5営業日以内にメールにて受講の可否を通知します。

# 令和6年度の予定 東京 (10月19日・20日)

## 1 日目

- 9時30分～12時30分 障害全般（堀込講師、田代講師）
- 12時30分～13時30分 休憩
- 13時30分～16時30分 マルチメディアと発達障害(野村講師、井上講師)

## 2 日目

- 9時30分～12時30分 肢体障害(渡辺講師)
- 12時30分～13時30分 休憩
- 13時30分～16時30分 視覚障害(杉田講師)

# 令和6年度の予定 名古屋 (11月9日・10日)

## 1日目

- 9時30分～12時30分 マルチメディアと発達障害(河村講師  
または野村講師、井上講師)
- 12時30分～13時30分 休憩
- 13時30分～16時30分 視覚障害(杉田講師)

## 2日目

- 9時30分～12時30分 障害全般 (堀込講師、田代講師)
- 12時30分～13時30分 休憩
- 13時30分～16時30分 肢体障害(渡辺講師)

# 参考) 過去の実施データ 都道府県別

## ➤ 通常研修

通常研修	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05
東京(1回目)	19	18	20	14	18	12	16	7	18	17	15	11	17	15	21	13
東京(2回目)	20	13	17	17	7	12	8	11	16	11			7			
東京(3回目)							17	17								
札幌		23	12	11												
仙台	13								7			4				
金沢						11										
名古屋	15	14							16		14					
京都	13	15	17	9	11											
大阪							15	9		9	13	8	8	5	10	14
福岡	11	17	12	10	9					7						
大牟田						20										
沖縄	13				15											
総参加者	104	100	78	61	60	55	56	44	57	44	42	23	32	20	31	27
内障害者	15	15	14	11	13	9	8	8	4	7	7	3	3	4	4	4
実施回数	7	6	5	5	5	4	4	4	4	4	3	3	3	2	2	2
1回あたりの参加人数	14.86	16.67	15.60	12.20	12.00	13.75	14.00	11.00	14.25	11.00	14.00	7.67	10.67	10.00	15.50	13.50

# 参考) 過去の実施データ 都道府県別

## ➤ 特別研修

マルチメディア DAISY	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R05
東京	36	53	39	34	33	27	23	22	19	14	25	46	31	35	31	22
大阪												29				
オンライン													29	22	8	9
総参加者	36	53	39	34	33	27	23	22	19	14	25	75	60	57	39	31
内障害者	2	4	3	0	2	1	2	2	0	0	0	1	1	3	1	0
実施回数	2	3	2	2	2	2	2	2	1	1	2	4	4	4	4	4
1回あたりの参加人数	18.00	17.67	19.50	17.00	16.50	13.50	11.50	11.00	19.00	14.00	12.50	18.75	15.00	14.25	9.75	7.75

# 参考) 過去の実施データ 人数

## ➤ 通常研修

年度	受講者数	前回受講	自治体	学校	図書館	社協	企業	病院	就労支援	障害者団体	ボランティア団体	ITサポートセンター	個人	その他
H26	56	13	0	5	3	1	1	2	0	8	15	2	19	
H27	44	5	1	1	1	0	3	0	2	14	2	3	17	
H28	57	4	0	4	1	1	3	0	3	17	13	1	14	
H29	44	3	0	2	2	0	3	0	6	10	7	1	13	
H30	42	4	2	3	0	2	3	0	0	5	5	3	11	8
R01	23	3	0	3	1	0	1	0	2	3	2	2	6	3
R02	32	1	3	3	1	0	6	0	0	7	6	1	2	3
R03	20	2	1	2	0	0	0	0	0	2	3	3	5	4
R04	31	1	1	2	2	0	2	0	0	2	2	2	8	9
R05	27	2	1	1	1	0	6	0	0	4	8	3	2	1

# 参考) 過去の実施データ 人数

## ➤ 特別研修

年度	受講者数	前回受講	自治体	学校	図書館	社協	企業	病院	就労支援	障害者団体	ボランティア団体	ITサポートセンター	個人	その他
H26	23	3	0	0	2	0	0	0	0	3	9	0	9	
H27	22	3	0	0	1	0	1	0	0	4	8	1	7	
H28	19	1	0	1	2	0	2	0	0	4	8	0	2	
H29	14	1	0	2	1	0	3	0	0	5	2	0	1	
H30	25	5	0	0	4	0	2	0	0	2	10	0	4	3
R01	75	3	0	7	1	2	1	0	0	5	49	0	6	4
R02	60	19	0	4	1	2	4	0	0	3	32	0	4	10
R03	57	20	3	2	5	3	1	0	0	4	32	1	3	3
R04	39	9	1	0	6	1	2	0	0	0	13	0	9	7
R05	32	8	0	4	3	1	0	0	0	2	16	0	2	3